

# 経済建設常任委員会 報告案件一覧

報告案件は以下の通りです。

開催日// 平成 29 年 2 月 9 日(木) 午前10時～ 委員会室			
部署	No.	報 告 案 件	
経済部	1	恵庭市中小企業経営改善調査報告書(概要版)について	商工労働課
建設部	2	恵庭市住生活基本計画(案)について	住宅課
	3	平成28年度除排雪の状況報告について	管理課
水道部			
農業委員会			

資料NO	経済建設常任委員会	経済部
1	所管事務調査報告書	商工労働課

平成28年度

## 恵庭市中小企業経営改善調査報告書（概要版）

### （1）アンケート調査の目的

本調査は、恵庭市に事業所を置く中小企業の事業承継など、経営上の課題解決を把握し、恵庭市中小企業振興基本計画の基本戦略による施策の方向性を検討するため、経営改善調査を実施するものである。

### （2）調査対象

恵庭市内に事業所を置く企業1653社が対象。

### （3）調査方法

調査方法は、郵送にてアンケート調査票を送付。アンケート調査票が投函期限までに返送しなかった企業に対しては、電話や訪問等によりアンケート調査票の回収に努めた。なお、事業承継に関して、アンケートにおいて「廃業」「譲渡」と回答した企業に対して電話によるヒアリング調査を行った。

### （4）調査票の回収状況

発送件数	1653件
返送件数	108件（郵送物が届かない、営業していない先等）
有効発送件数	1545件
回収件数	398件（無回答7件を除き、有効回答数391件）
回収率	25.7%

### （5）調査結果の概要

#### （1）企業概要

本アンケート調査では391社から回答を得た。回答企業の業種はサービス業、流通・商業、建設業、製造業、その他の順で回答割合が高く、恵庭市の産業構造に相関した回答割合となった。創業30年以上で、小規模な事業所の割合が高く、代表者の年齢に高齢化の傾向がみられる。また、特徴としては、小規模な事業所の従業員は女性が多い傾向がみられる。

#### （2）業況について

業況については、業種別にみると、全ての業種で売上が横ばいの企業が最も多いが、売上が上昇した企業と下降した企業の割合を比較すると、建設業は上昇した企業が、その他の業種は逆に下降した企業が多い。総じて、全体的に売上動向が横ばい、あるいは下降傾向にある。また、経営上の課題を業種別にみると建設業において、人材不足と回答している企業が著しく多い傾向にある。

### (3)取引の状況について

取引の状況については、全体的に市内からの仕入と市内への販売状況は変わらない企業が多い。また、業種別の特徴としては、サービス業は、市内からの仕入が減少している一方で、市内への販売が増加した企業が多い傾向にある。また、市内企業と取引を増やしたいという企業が多く、そのためには、恵庭市内の企業同士が知り合う機会が必要という意向が高い傾向にある。

### (4)－1経営の今後について(事業承継)

5年後の事業展開については、全体の約6割が現状維持と回答している。事業承継については、サービス業の約5割が現時点で事業承継を考えておらず、代表者の年齢が若いほど、その割合が高い傾向にある。また、事業を承継する際の課題としては、後継者不足や後継者の人材育成という傾向がみられる。

### (4)－2事業承継ヒアリング調査について

廃業・譲渡と回答した企業へのヒアリング調査からは、5年以内に廃業を考えている事業主が約5割と高い割合となっている。廃業・譲渡の理由として、事業主自身の高齢化などが多い一方、店舗譲渡の希望は低い傾向にある。また、店舗は自社物件が多く、廃業後は自宅として使用する傾向が高い。

### (5)人材確保について

人材の確保については、「当面は人手が足りている」企業が約4割である。今後増やしたい人材としては、女性を挙げる企業が多い傾向にある。また、人材確保に対して市に希望する取組みとしては、「市民への企業PRイベントの実施」が多く、自社をもっと市民に周知したい意向が窺える。

### (6)持続可能な生産・経営基盤の確立について

持続的な生産・経営基盤の確立について、経営を安定させるために必要な市の取組みとしては、資金繰り支援や相談体制強化などのほか、各種制度に関するセミナーや経営相談の実施など多岐にわたっており、事業主の個別のニーズに合わせた支援が求められている。

### (7)発展的な取組みについて

経営をさらに発展させるために市の取組みで必要なことは、「企業連携の促進」、「恵庭市の知名度向上」、「企業誘致の促進」と回答する企業が多い。

### (8)平成26年度中小企業実態調査との比較

平成26年度中小企業実態調査との比較から、特に建設業と製造業の売上は「下降」から「横ばい」に転じている企業が多い傾向にある。売上増加の要因として、建設業では「顧客数や販路拡大」、製造業では「新商品や新サービスの開発」が多い。一方、売上減少の要因は、「公共事業の減少」や「競合店の出店」などの環境の変化が推察される。総じて、売上がほぼ横ばいの企業が大幅に増加したことから、売上動向は全体的に下げ止まりの傾向がみられる。

資料NO.	経済建設常任委員会	建設部 管理課
3	所管事務調査報告書	

(平成29年2月9日)

## 平成28年度 除排雪の状況報告

### (1)降雪状況

	H28	H27	H26
累積降雪量	325 cm (H29.1.30現在)	459 cm	482 cm
最大積雪量	69 cm	64 cm	73 cm

### (2)委託除排雪作業実施状況

作業内容		H28実績 (H29.1.30現在)	参 考		
			H28設計	H27実績	H26実績
車道除雪	一斉除雪	7回	12回	12回	10回
	幹線のみ	4回	0回	1回	2回
	歩道のみ	1回	0回	2回	0回
人力除雪	階段	15回	30回	19回	25回
	手押信号	8回	12回	12回	8回
凍結防止散布		36回	35回	51回	26回
路線排雪	排雪日数	18日	4日	4日	12日
	(日中)	46時間	20時間	0時間	105時間
	(夜間)	128.75時間	30時間	35.25時間	
	排雪路線数	40路線	10路線	10路線	21路線
	排雪延長	51.2 km	25.0 km	18.1 km	27.3 km
排雪量		72,870 m <sup>3</sup>	15,000 m <sup>3</sup>	13,566 m <sup>3</sup>	44,352 m <sup>3</sup>
交差点排雪		63,558 m <sup>3</sup>	14,270 m <sup>3</sup>	25,307 m <sup>3</sup>	88,695 m <sup>3</sup>
拡幅積上除雪		406.5時間	50時間	3.5時間	705時間

### (3)直営除排雪作業実施状況

作業内容		H28実績 (H29.1.30現在)	参 考	
			H27実績	H26実績
車道除雪	全線除雪	11回	17回	21回
	部分除雪	5回	8回	8回
歩道除雪	全線除雪	8回	10回	10回
	部分除雪	1回	2回	3回
路線排雪	排雪日数	19日	22日	28日
	排雪路線数	59路線	86路線	62路線
	排雪延長	24.6 km	58.6 km	38.5 km
	排雪量	59,806 m <sup>3</sup>	26,722 m <sup>3</sup>	40,750 m <sup>3</sup>
拡幅積上除雪	拡幅日数	21日	36日	27日
	作業延長	715 km	1,466 km	1,001 km